

【次世代地域ヘルスケア産業活性化ファンド】 株式会社 PROVIGATE に対する出資決定について

株式会社地域経済活性化支援機構(以下「機構」という。)と株式会社 AGS コンサルティングが共同で運営する「地域ヘルスケア産業活性化基盤株式会社」を無限責任組合員とする「次世代地域ヘルスケア産業活性化ファンド(以下「本ファンド」という。)」にて、株式会社 PROVIGATE(以下「PROVIGATE」という。)の第三者割当増資を引き受けることを決定しましたので、お知らせいたします。

PROVIGATE は、グリコアルブミン(GA)という指標を用いた週次血糖測定と行動変容を促すスマートフォンアプリの組み合わせによる新たな糖尿病の発症・重症化予防サービスを開発しています。当社は、東京大学坂田利弥准教授のバイオセンシング技術(※1)を活用して2015年に設立し、それ以来、東京大学医学部附属病院並びに糖尿病専門病院である熊本の陣内病院等との共同研究を行いながら、血糖測定の技術及び当該技術を利用した新たな行動変容支援サービスを開発してまいりました。

糖尿病の中で大半の割合を占める2型糖尿病は、網膜症や腎不全、脳梗塞、心筋梗塞等の重篤な合併症を引き起こした患者のQOL(Quality Of Life)を著しく低下させる要因となります。これまで2型糖尿病の治療法のため、政府や自治体、保険者、企業が様々な施策を講じてきましたが糖尿病の有病率の低下には至っていません。(※2)

このような状況の中、PROVIGATE は、週次血糖測定とスマートフォンアプリを組み合わせることで、行動変容による血糖の改善効果を小テストのように利用者にフィードバックする手法を用いて生活習慣の改善意欲をモチベートし、糖尿病の発症、重症化予防に繋げるサービスを開発しています。

機構は本ファンドからの出資を通じて、同社のグリコアルブミン(GA)検査と行動変容アプリを併用した糖尿病の発症・重症化予防法の開発を支援してまいります。

本ファンドは地域金融機関等と協力しながら、地域における次世代の医療やヘルスケア産業基盤の構築や雇用創出、医療提供体制の効率化や拡充等に資する事業へ成長資金の供給を行うことにより、今後も地域経済の活性化を支援してまいります。

(※1) 酵素や抗体、核酸、微生物などの生物学的要素と分析物との反応から特定の分子の存在や濃度を測定する技術

(※2) 出所: 厚生労働省「国民栄養調査」

【治療アプリ (glucoreview) の画面イメージ】



血糖値の測定結果が治療アプリに自動連携され、
利用者は毎週の努力成果をタイムリーに確認できる

投融資先の概要は以下の通りです。

企業名	株式会社 PROVIGATE
設立	2015年3月6日
本社所在地	東京都文京区本郷
代表取締役	関水康伸
事業内容	家庭用血糖モニタリングデバイスおよびアプリの開発
ホームページ	https://provigate.com/

【次世代地域ヘルスケア産業活性化ファンドの概要】

機構ホームページをご参照ください。

<https://www.revic.co.jp/business/fund/40.html>

以上

<お問い合わせ・ご相談の連絡先>

株式会社地域経済活性化支援機構 <https://www.revic.co.jp/>

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル9階

代表：TEL 03-6266-0310

地域活性化支援本部：TEL 03-6266-0590